

都市再生整備計画(第7回変更)

おかやま えきひがしぐち ちく
岡山駅東口地区

おかやま おかやまし
岡山県 岡山市

令和3年12月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォークアブル推進事業	■

目標及び計画期間

都道府県名	岡山県	市町村名	岡山市	地区名	岡山駅東口地区	面積	327.0 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 令和 3 年度	交付期間	令和 2 年度 ~ 令和 3 年度				

目標

- 大目標：自転車先進都市おかやまの実現と魅力・賑わいのある中心市街地の創出
- 目標1:「走る」「停める」「使う」「楽しむ」「学ぶ」という5つの施策分野が、相互の連関のもと、高い水準で調和させる
 - 目標2:“自転車”が街の風景として溶け込み、市民が『自転車先進都市』を実感し、認識を共有し、また先進都市市民として実践する
 - 目標3:歩いて楽しい魅力ある都心空間を創出し、まちなかの魅力と回遊性向上を目指す

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

●自転車先進都市おかやまの実現
 「岡山市都市ビジョン」(平成19年6月策定)においては、1キロメートルスクエア内は、歩車共存道路や自転車走行空間、都心内を循環する公共交通の整備などにより、子どもや高齢者をはじめ誰もが安全で快適に歩けるまちづくりを進めていくことが示され、「岡山市都市計画マスタープラン」(平成24年3月策定)では、誰もが移動しやすい都市づくりにむけて、車に依存した岡山から公共交通と自転車中心としていくことが示されている。これら岡山市の将来像の実現に向け、「岡山市都市交通戦略」(平成21年10月策定)では、人と環境に優しい交通体系を構築することを今後の交通政策の目標とする中で、岡山市にふさわしい(気候と地形に適した)交通手段の1つとして自転車を位置付けており、岡山市における自転車の役割は、交通手段だけでなく街づくりのツールとしても重要な役割を担っている。一方で、歩行者の通行を阻害する放置自転車や、ルールマナーを守らない迷惑自転車などの問題への対応を含め、自転車利用環境等の総合的な整備が急務となっている。都市交通戦略を受けて策定された「自転車先進都市おかやま実行戦略」(平成24年8月策定)では、都市づくりを進める上で、公共交通と自転車主体の交通システムの実現と、当該交通システムを骨格としたコンパクトな市街地構造の実現、より多くの人々が、より多くの場所を巡り、より長く滞在したくなる、安全で、回遊性が高く、魅力と賑わいにあふれた都心の実現を図る観点から、『自転車先進都市』を目指し、総合的な自転車政策への取組みを進めている。この「自転車先進都市おかやま実行戦略」の基本方針においては、岡山市都心部および商業・業務集積地である中心市街地を重点エリアとして設定しており、目に見える形で施策効果をアピールしていくとともに、事業推進とルールマナーを波及的に浸透させていくことを狙い、自転車走行空間整備や自転車駐車場整備、コミュニティサイクルの導入等により、短期的にショーケースの形成を図っていくこととしている。ショーケースを形成する短期施策として、特にコミュニティサイクルについては、「公共交通利用への転換を促進するツール」、「賑わいのある都心部を創出するツール」、「街を彩り、本市のイメージアップに資するツール」として多面的な意義・効果が期待されることから、岡山市都心部を中心としたエリアへの導入検討を進めている。

●魅力・賑わいのある中心市街地の創出
 岡山市の中心市街地は、2つの賑わいの核である岡山駅周辺エリアと旧城下町エリアで形成されており、西川緑道公園や県庁通りで両エリアをつなぐ魅力ある都心空間づくりを進めることにより、街なかの賑わいや回遊性を向上していく必要がある。このため、平成27、28年度には、車中心から人優先のまちづくりに向けた社会実験として、現道2車線の一方通行である県庁通り(W=15m、L=600m)において、車道の1車線規制及び自転車走行空間確保などの交通社会実験を実施し、沿道の賑わい効果と通過交通への影響を調査するとともに、西川緑道公園周辺においても、隣接する市道の通行止め(L=270m)を実施し、歩行者天国の定期開催に向けた周辺交通への影響と賑わい効果を調査している。その後、県庁通りについては、平成29、30年度と道路空間の再構築に向けた道路設計を進めるとともに、地元や沿道事業者などとの官民連携により、通りの魅力と賑わい創出に取り組んでおり、西川緑道公園筋歩行者天国については、平成29年度からは市民主体の実行委員会を設立し、定期開催(年5回)を行っている。本市には国内外の人を惹きつける観光スポット、歴史・文化、食があるにもかかわらず、観光地としての地位を確立できていない。その要因として、①岡山城・岡山後楽園での短時間観光、②ブランド力と認知度の不足、③資源をいかしきれていない観光地の現状が考えられる。街なかの賑わいや回遊性を向上していくためには旧城下町エリアを魅力ある都市空間としていく必要がある。

●コンパクトでネットワーク化された都市構造
 都市機能や居住を誘導する区域を定め、一定の人口密度を維持するとともに、必要な都市機能を確保しそれらの区域を公共ネットワークで結ぶことにより、人口減少・少子高齢社会においても、若年者から高齢者まで歩いて健康に暮らすことができるなど、生活の質が高く活力あふれる持続可能な都市を目指す。中心市街地においては、魅力・賑わいの創出や車中心から人優先の都心空間への創生を目指す。

課題

- 自転車先進都市おかやまの実現
- ・自転車走行空間整備のみならず、ルール、マナーの徹底も含め、総合的な自転車対策を推進することにより、「歩行者も自転車も安全な道路環境」を実現することが必要である。
 - ・公共交通の利便性等を向上させる公共交通施策との連携のもと、自転車利用環境等を高めることにより、公共交通と自転車を中心とした「人と環境にやさしい交通体系」を実現することが必要である。
 - ・走る、停める、使う、楽しむ、学ぶという多角的な切り口から総合的な対策を進めることにより、「魅力・賑わいのある都心部等」を実現していくことが必要である。
 - ・自転車の利用にふさわしい本市の特長を活かし、全国でも有効な自転車利用環境等を整備することにより、「環境と健康を重視した自転車の街としての本市の都市イメージ」の向上につなげていくことが求められている。
- 魅力・賑わいのある中心市街地の創出
- ・市中心部では、依然として駐車場需要が高く安定した収益が見込めることから、駐車場などの低・未利用地が増加するなど都市のスポンジ化が進行し、街なかの魅力が低下している。
 - ・イオンモール岡山の開業により岡山駅周辺エリアへの来街者は増加しているものの、いわゆる街なかへの波及効果が限定的であるため、来街者を街なかへと回遊させ、まち全体の賑わいにつなげていく必要がある。
 - ・県庁通りでは、沿道事業者間の横の連携が乏しいことに加え、高齢化や近隣に在住でない土地及び建物所有者のまちづくりに対する無関心さが課題となっていることから、沿道の土地所有者や事業者の意識を醸成し、意欲的にまちづくりに参加し、一緒にまちづくり考えていくとともに、安心・安全な歩行者空間確保と沿道と一体となった道路空間活用による賑わい創出に向け、県庁通りの道路空間を再編整備していく必要がある。
 - ・また今後は、県庁通りで実施している取組を更に周辺部へと拡げ、官民のパブリック空間をウォーカーフレンドな人中心の空間へと転換していくとともに、居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成による魅力・賑わいづくりを継続的に展開する必要がある。
 - ・岡山城や岡山後楽園等の歴史資産や文化施設が集積する「歴史・文化ゾーン」への来訪者は、近年増加傾向にあるが、効果的な情報発信や歴史・文化遺産を活かした新たな取組みなど、一層の魅力向上に取り組むことにより、来訪者のさらなる増加や都市格の向上につなげ、魅力・賑わいのある中心市街地を創出していくことが求められている。

将来ビジョン(中長期)

- ①岡山市都市ビジョン(平成19年6月策定) <人と環境に優しい総合交通システムプロジェクトー自転車利用環境整備>
- ・平坦な地形と晴れの岡岡山の特性をいかした自転車利用を進めるため、安全で快適な自転車走行空間を整えます。
 - ・駐輪場やレンタサイクルなど自転車の利用環境を向上させ、多くの人が手軽に利用できる自転車利用システムづくりを進めます。
- ②岡山市都市計画マスタープラン(平成24年3月策定) <重点事項:公共交通と自転車が主役の交通体系の構築>
- ・温暖で雨が少なく、平坦地である特性を活かし、“走る・停める・使う・楽しむ・学ぶ”など多角的見地から自転車施策を展開し、自転車先進都市の実現を目指します。
- ③岡山市都市交通戦略(平成21年10月策定) <使いやすい都心内移動補助手段を確保する>
- ・車道・歩道と分離した自転車走行空間の確保や道路標示等の方法を組み合わせて自転車走行空間のネットワークを形成し、都心内で自転車及び歩行者が安全で円滑に走行できる空間の確保を図る。
 - ・道路空間、道路外の空間を活用して、都心内の各所に駐輪施設の整備を図る。
 - ・通勤・通学や来訪者に手軽な移動補助手段として、レンタサイクルの充実を図る。
- ④自転車先進都市おかもやま実行戦略(平成24年8月策定) <誰もが自転車を“安全”で“便利”に“楽しく”使うことが出来る都市>
- ・走る:安全で快適に走行できる都市
 - ・停める:便利に止められ、放置自転車の無い美しい都市
 - ・使う:便利で手軽な道具として、気軽に使うことの出来る都市
 - ・楽しむ:観光に、健康増進にサイクリングが快適に楽しめる都市
 - ・学ぶ:ルール遵守が徹底した都市
- ⑤岡山市第六次総合計画(長期構想)平成28年3月策定
基本目標:「未来へ躍動する 桃太郎のまち岡山」
- 基本方向1. 地域経済の活性化による、魅力と活力あふれるまちづくり
政策2. 魅力と賑わいのある中心市街地の創出(中心市街地)
施策2. 賑わいにつながる回遊性の向上 → 「歩いて楽しい道路空間整備事業」
 - 基本方向3. 歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり
政策8. 歴史・文化による新たな魅力の創出と発信
施策1. 歴史・文化遺産をいかしたまちの魅力の創造と発信⇒「観光施設の活用事業(岡山城の魅力アップ)」
- ⑥岡山市立地適正化計画 令和2年度中策定
基本理念:「人とまちが健幸で、持続的に発展する交流拠点都市 岡山」
都市づくりの基本目標として
目標2. 各地域の拠点を中心としたコンパクトでネットワーク化された都市づくり 目標3. 誰もが移動しやすい都市づくり 目標4. 水と緑にあふれた美しく風格のある都市づくり
目標5. 安全・安心で暮らしやすい都市づくり 目標6. 市民との協働による都市づくり などを定める予定です。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
コミュニティサイクル利用回数(回転率)	回/台・日	コミュニティサイクルの利用回数を導入する自転車台数と運営日数で除した数値	コミュニティサイクルの導入により、回遊交通手段等として利用者が増加する。	0.22回/台・日	H23年度	1.0回/台・日	R3
自転車関連事故件数	件	岡山市内における年間の自転車関連事故の発生件数	自転車走行空間整備や啓発活動等により、自転車のルールマナーの向上と自転車走行環境が改善され、事故件数が削減される。	1,620件	H23年度	800件	R3
自転車の走りやすさに対する満足度	%	岡山市民の自転車利用者が「自転車で走りやすい」と感じる人の割合	自転車走行空間整備により、自転車走行環境が改善され、利用者の満足度が向上する。	29.5%	H23年度	50.0%	R3
放置自転車台数	台	都心部(10地点)における放置自転車台数(平日、休日の合計値)	コミュニティサイクルの導入や自転車駐車場整備、啓発活動等により、放置自転車台数が削減される。	5,691台	H21年度	2,800台	R3
駐輪しやすさに対する満足度	%	岡山市民の自転車利用者が、商店街や商業施設において「自転車を駐輪しやすい」と感じる人の割合	利便性の高い自転車駐車場整備等により、利用者の満足度が向上する。	10.1%	H23年度	50.0%	R3
自転車利用環境等の総合満足度	%	岡山市民の自転車利用者が、市中心部の自転車利用に対して満足と感じる人の割合	自転車利用にかかわる総合的な取組により、利用者の満足度が向上する。	10.1%	H23年度	50.0%	R3
県庁通りの歩行者通行量	人/9h	県庁通りにおける休日の平均歩行者通行量(9h)を把握する(9時~18時)	歩いて楽しい道路空間整備事業により、歩行者通行量は増加する	4,236人/9h	H28	6,000人/9h	R3
県庁通り沿道店舗新規出店数	店舗	令和2~3年度の県庁通りにおける沿道店舗の新規出店数	道路空間の再構築及び歩道空間を活用した賑わいづくりの取組により、新規店舗の出店が期待できる。	0店舗	R1	5店舗	R3
岡山城天守閣入場者数	人	岡山城天守閣の年間入場者数	岡山城の魅力アップ(岡山城天守閣等の改修やバリアフリー化等)により、入場者は増加する。	327,551人	H30年度	410,000人	R5

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【道路状況に応じた安全な走行環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車との分離による歩行者の安全確保を第一義として、自転車の走行空間を多様な整備手法により確保・整備していく。 ・走行空間整備に合わせた誘導サイン等の整備により、道路の状況に応じてルールを守って通行できるよう適切な誘導を行う。 	<p>路線状況に応じた安全な走行空間整備、適正な利用を誘導するためのサイン整備【関連事業】</p>
<p>【駐輪ニーズへの適正な対応による駐輪対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路外自転車駐車場の整備等による従来の駅前長時間駐輪への対応に加え、短時間駐輪などの多様な駐輪特性を十分に勘案しながら、総合的な駐輪対策を行っていく。 ・公共による施設整備等の対策に加え、民間による主体的な施設整備の促進とともに、放置禁止区域の拡大などによる各種施策連携を図っていく。 	<p>利用ニーズに対応した駐輪施設整備、既存駐輪施設の運用見直し等による利用促進、施設整備と連動した放置自転車への規制強化、民間による主体的な施設整備の促進【関連事業】</p>
<p>【公共交通と組合わせた自転車の利用促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徒歩移動や既存公共交通を補完し、移動の利便性を向上させるため、これまでの社会実験結果を踏まえつつ、コミュニティサイクルの導入を図っていく。 ・公共交通との役割分担に留意しつつ、自動車から「公共交通＋自転車」への転換を誘導するための各種利用推進施策を展開する。 	<p>コミュニティサイクルの導入、自転車の公共交通への持込み促進、モビリティマネジメントによる自転車利用の推進【関連事業】</p> <p>サイクルポート(自転車駐車器具)の設置【協定制度等】</p>
<p>【地域・観光活性化に向けた自転車利用振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然や歴史的資源を活用し、関係機関との連携によるサイクリングロードの整備等により、市民の健康づくりをはじめ、自転車を楽しめる環境の向上を図っていく。 ・ネットワークの拡大とあわせ、情報提供や活用イベントの充実により、地域振興や観光振興に寄与する自転車利用シーンの拡大を図る。 	<p>サイクリングネットワークの充実、自転車利用シーンの拡大【関連事業】</p>
<p>【自転車利用のマナーアップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携により、教育・広報・指導・啓発を総合的に推進し、通行ルールや利用マナーの周知、及び遵守率の向上を図っていく。 ・自転車先進都市としての積極的な情報発信により、地域外へのアピールと地域内への啓発など、施策の相乗的な効果の発現を図っていく。 	<p>関係機関との連携による自転車マナーの向上、自動車ドライバーに対する啓発活動の推進、情報発信による「自転車先進都市おかやま」の推進【関連事業】</p>
<p>【魅力ある道路空間の再整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車道を2車線から1車線化し、歩道を拡幅することで「車中心」から「人優先」の安全で快適な「歩いて楽しい」道路空間を創出する。 	<p>【基幹事業】「高質空間形成施設整備」 県庁通り整備事業(緑化施設等)</p> <p>【協定制度等】オープンカフェ(食事施設)等の設置</p>
<p>【官民連携による賑わいの創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗や空き地等、低未利用地の有効活用や道路空間の利活用等に向けた検討を行うなど官民連携による都市再生(リノベーション)を進める。 	<p>【提案事業】</p> <p>「まちづくり活動支援」 県庁通り賑わいづくり検討事業</p>
<p>【歩きたくなるまちなかの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりの推進に向け、取組の路線選定や路線ごとの推進方針を検討する。 	<p>【提案事業】</p> <p>「事業活用調査」 まちなかウォークアブル推進検討事業</p>
<p>【岡山城本丸内のバリアフリー化等事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが安心して快適に利用でき、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに向け、目安橋を改修するほか、園路の舗装や手すりの設置、照明の整備等、岡山城本丸内のバリアフリー化等を進める。 	<p>【基幹事業】</p> <p>「地域生活基盤施設整備」 岡山城本丸内バリアフリー化等事業(広場)</p>
<p>【岡山城天守閣等魅力アップ事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再建され50年以上が経過した岡山城天守閣、不明門等の更なる活用を目指し、耐震補強、内外部の改修、設備更新、展示リニューアル等を行い、まちづくりの拠点である岡山城天守閣等の魅力を高める。 	<p>【基幹事業】</p> <p>「公園」 岡山城天守閣等の改修(体験学習施設)</p> <p>【提案事業】</p> <p>「地域創造支援事業」 岡山城天守閣展示リニューアル</p>
<p>その他</p>	
<p>※当地区周辺における協働型のまちづくりの進捗状況の補足</p> <p>【自転車先進都市おかやま実行戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自転車先進都市おかやま実行戦略」の策定に際して、市民や学識者・自転車利用者・自転車関係団体・関係機関等から様々な意見をいただき、取りまとめ ・今後の事業推進にあたっては、市民・民間・行政が連携のもと、計画を推進 <p>【自転車利用にかかわる主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人を中心とした表町商店街における歩行者・自転車共存社会実験の実施(平成21年1～3月) ・岡山市中心部におけるコミュニティサイクル(レンタサイクル)社会実験の実施(平成21.22.23年度) ・自転車走行空間社会実験の実施(H23年11月～12月) <p>【ESDに関するユネスコ世界会議】 ※ESD:持続可能な開発のための教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ESDカフェ <ul style="list-style-type: none"> ・毎月一回、環境や国際理解、地域づくりなど様々な分野の話題提供者を招き、持続可能な社会づくりのための対話の場として開催 ●ESDウィーク創造ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・岡山市域全体でESDを盛り上げていくために、2013年、2014年の「ESDウィーク」について、市民団体、公民館、学校、市など、さまざまな人達がコラボレーションして、楽しく、ESDのことを知ることができるにはどうしたらよいかを、参加する人と一緒に考えていくもの <p>【その他官民協働の取り組み事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民との協働による緑と花のまちづくり(市内4路線(西口筋、県庁通り、大学病院通り、岡山大学正門筋)のフラワーポットに、地元の市民や企業の手で草花の植え付け、水やり等の管理を実施) ・「緑と水の道」整備(市民提案協働事業という新しい取り組みとして、市民が施設の整備を提案し、市民と行政が協働して事業を実施し、市民が主体で施設を管理運営) ・平成29年度より市民主体の西川緑道公園筋歩行者天国実行委員会を設立し、定期開催(5回/年)を行っており、賑わいの中にも、ゆったりとしたくつろぎの空間があふれる西川周辺の新しい魅力を発信していき、市民協働による、魅力とにぎわいのある中心市街地を創出している。 	

制度別詳細1(道路占用に関する事項) 都市再生特別措置法46条10項

制度の活用計画			
占用対象施設	占用の場所	道路交通環境の維持 及び向上を図るための措置	
道路 占用 許可 特別 対象 施設	1 サイクルポート(自転車駐車器具)	路線名:国道53号(国道) 柳川筋歩道部 (中山下2丁目1の区間)	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクルポート(自転車駐車器具)に落ち葉が吹きだまらないよう、自転車利用者が乗り降りするエリアをこまめに清掃する。 ・サイクルポート(自転車駐車器具)設置個所の周囲で違法駐輪が起きないように、注意喚起を徹底する。 ・放置自転車への啓発活動等と連携し、自転車利用者へのマナー啓発を行う。 ・デザイン性の高い車両・サイクルポート(自転車駐車器具)を用い、良好な景観を保つ。
	2 オープンカフェ(食事施設)等	路線名:県庁通り(市道錦町古京町線)歩道部 (北区錦町6-24~北区磨屋町10-20番地先)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全かつ円滑な道路交通の確保のため、巡回、不法占用等の不正使用の監視。 ・活用する道路空間及びその周辺における、日常の清掃等良好な状態に保つための活動。 ・駐輪及び駐車対策として、来客者等へ適切な駐輪及び駐車場所の案内。
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		

制度別詳細1-1 - ①(道路占用に関する事項)

制度別詳細【道路占用許可基準の特例】

制度を活用して整備・設置する施設等の配置を示す地図



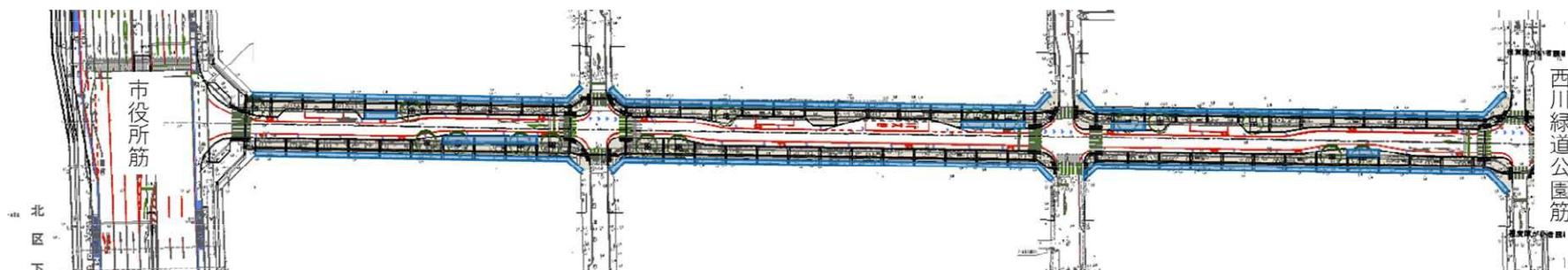
- 道路占用許可の特例を活用し
にぎわいのあるまちづくりを行う予定の区域
- 【凡例】
(道路占用許可特例の対象となる施設)
- サイクルポート(自転車駐車器具): ●
- 【凡例】
(市管理地)
- サイクルポート(自転車駐車器具): ●
- 【凡例】
(道路占用許可の対象外(施設用地等))
- サイクルポート(自転車駐車器具): ●

制度別詳細1-1 - ②(道路占用に関する事項)

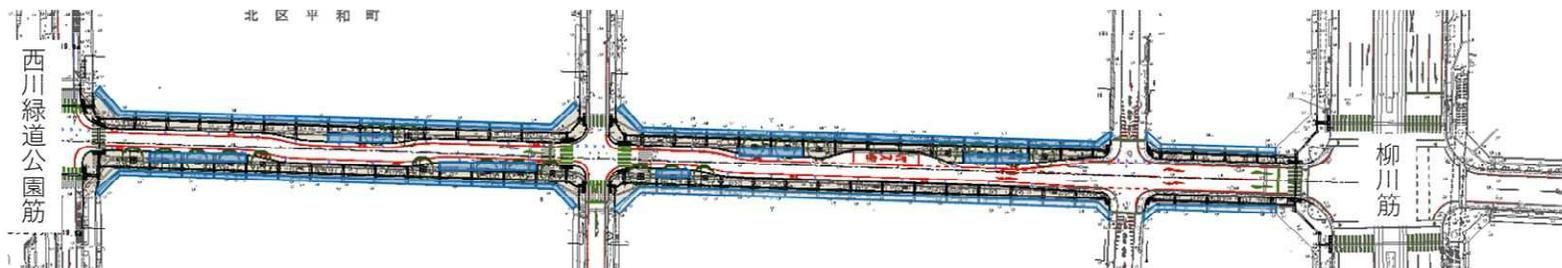
制度別詳細【道路占用許可基準の特例】

制度を活用して整備・設置する施設等の配置を示す地図

■市役所筋～西川緑道公園筋



■西川緑道公園筋～柳川筋

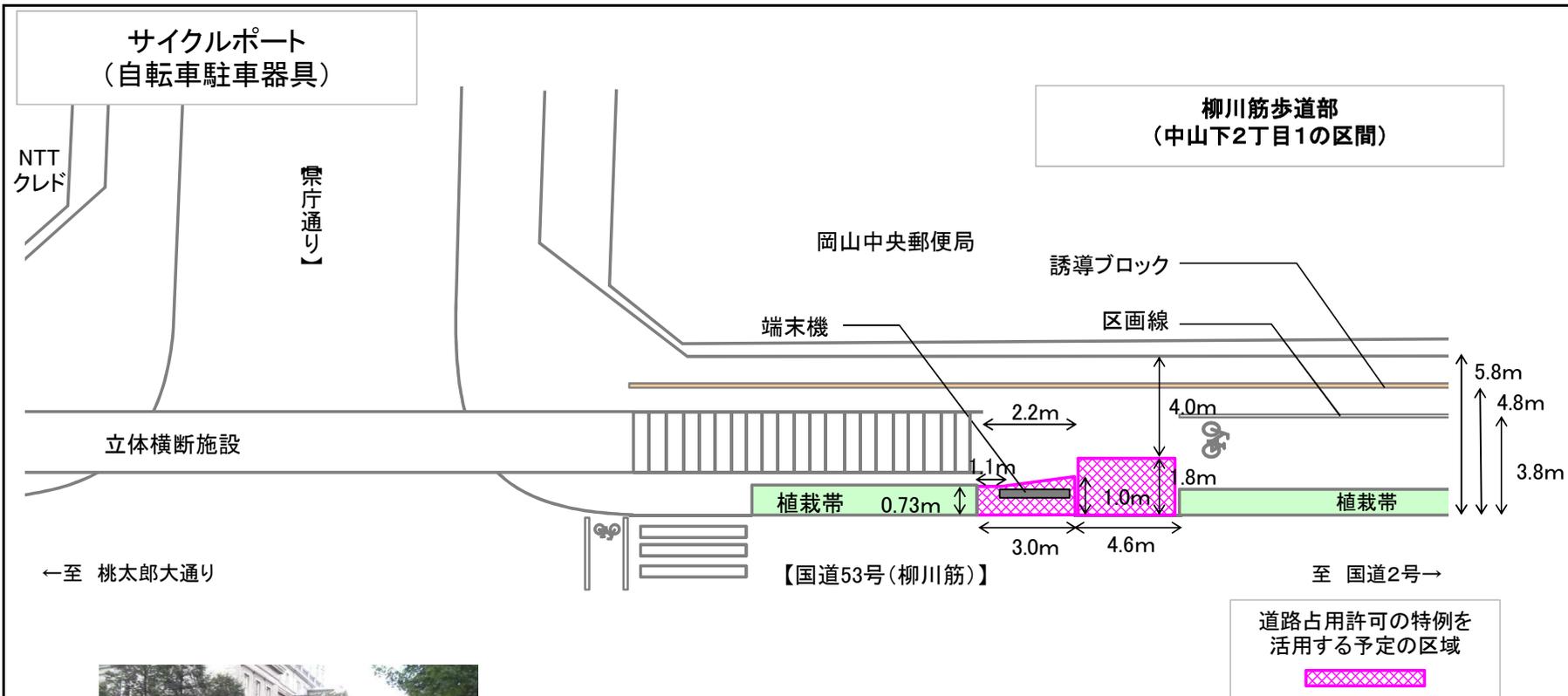


 特例道路占用区域

制度別詳細1-2-①(道路占用許可基準の特例): 自転車駐車器具

制度別詳細【道路占用許可基準の特例: 自転車駐車器具】

制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ



サイクルポート(自転車駐車器具)設置イメージ

制度別詳細1-2-②(道路占用許可基準の特例):オープンカフェ(食事施設)等

制度別詳細【道路占用許可基準の特例:オープンカフェ(食事施設)等】

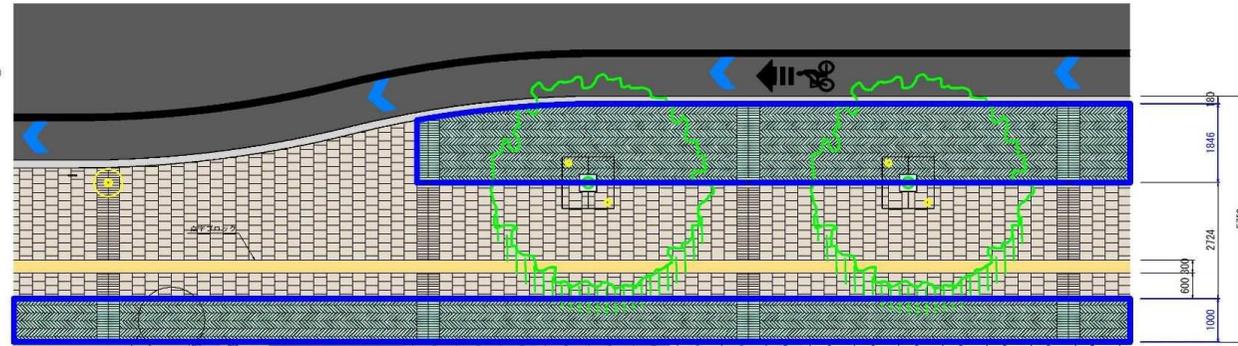
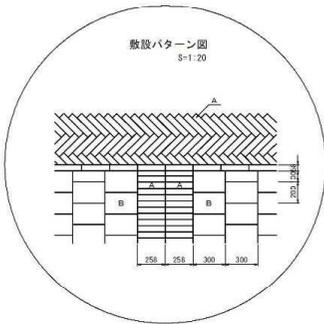
制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ

平面図

インターロッキング仕様

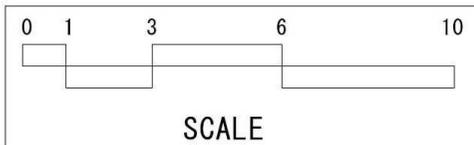
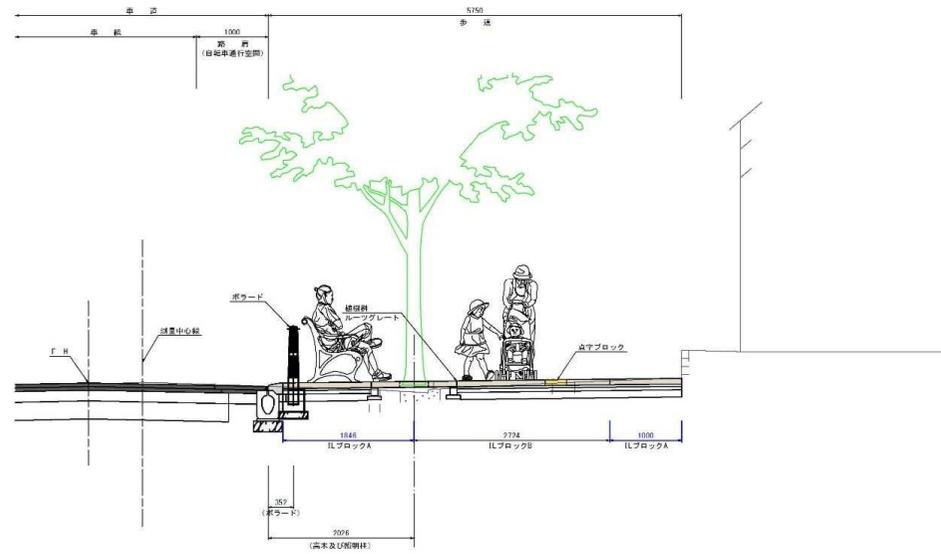
- A 58×258×60、80
テセラ
ピアンタコンクリートモジュールのホワイト色(透水)
- B 200×300×60、80
エコロアクア
グラベルディープブラウン
ファインウォッシュ(透水)

敷設パターン図
S=1:20

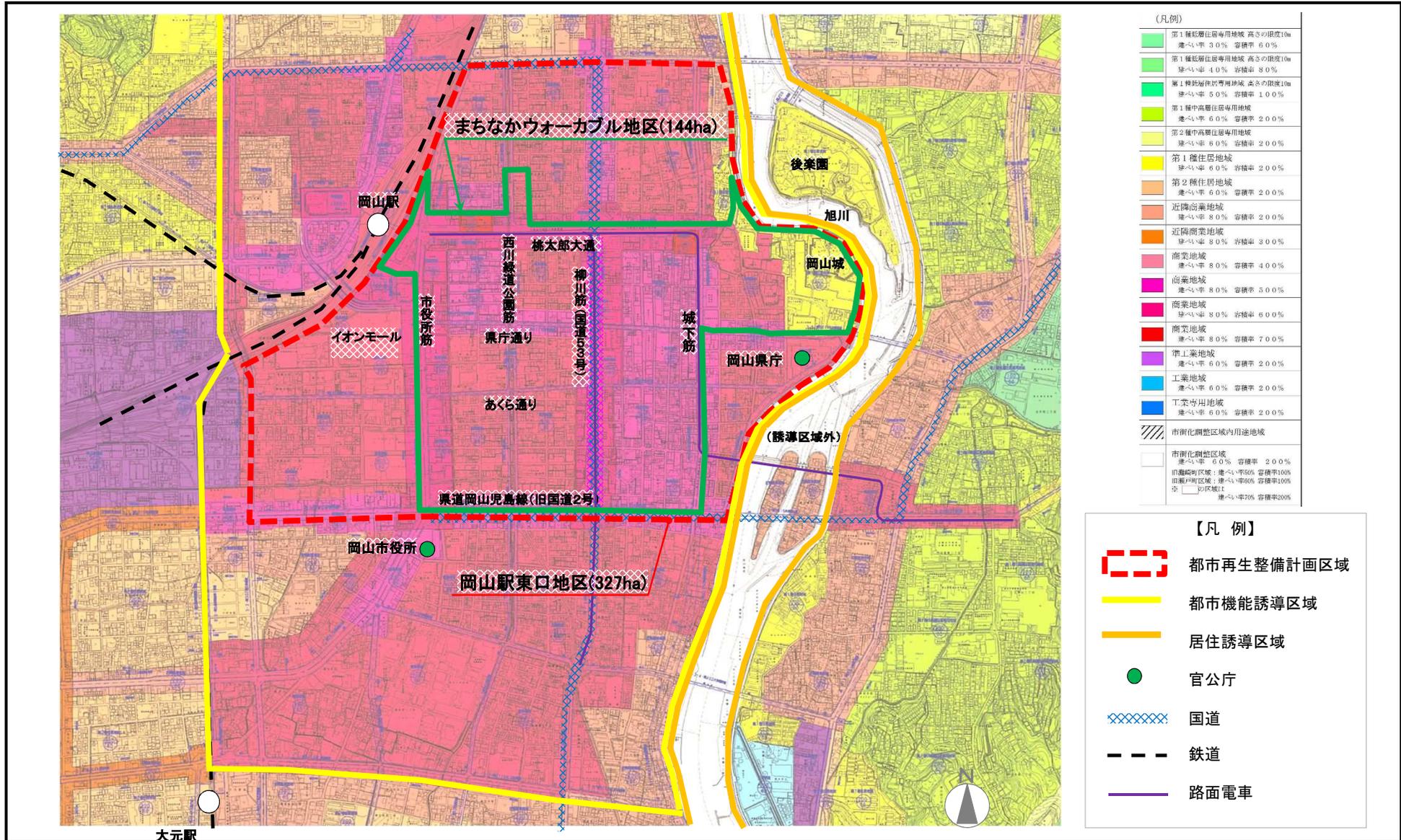


道路空間の活用場所

断面図

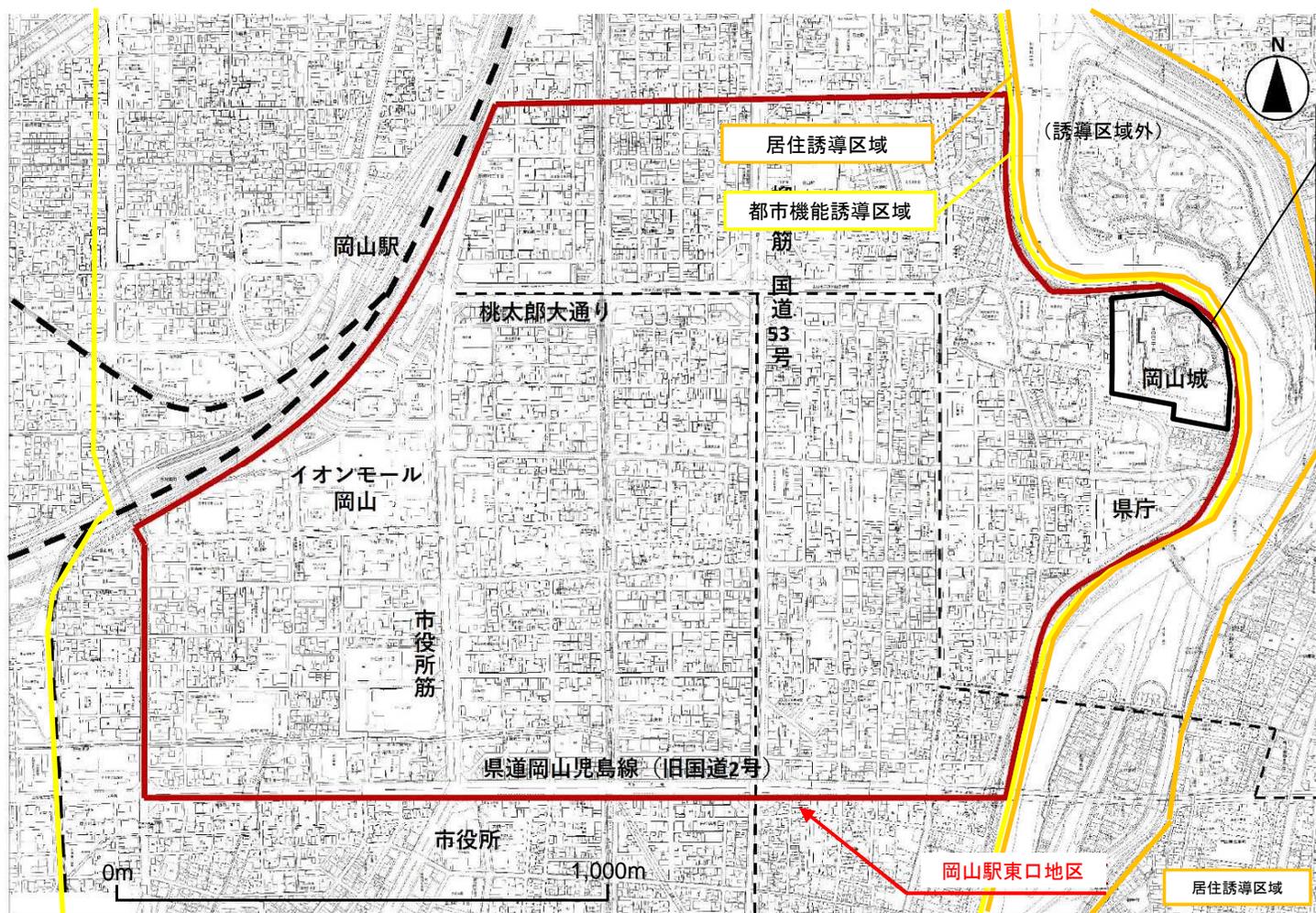


<p>岡山駅東口地区(岡山県岡山市)</p>	<p>面積 327(144) ha</p>	<p>区域 駅前町1~2丁目、下石井1~2丁目、丸の内1~2丁目、岩田町、弓の町、京橋町、錦町、桑田町、幸町、出石町1丁目、石関町、大供2~3丁目、中央町、中山下1~2丁目、天神町、田町1~2丁目、東島田町1~2丁目、内山下1~2丁目、蕃山町、表町1~3丁目、富田町1~2丁目、平和町、本町、磨屋町、野田屋町1~2丁目、柳町1~2丁目、駅元町の一部、厚生町1~2丁目の一部</p>
------------------------	-----------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



岡山駅東口地区(岡山県岡山市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	大目標:自転車先進都市おかやまの実現と魅力・賑わいのある中心市街地の創出 目標1:「走る」「停める」「使う」「楽しむ」「学ぶ」という5つの施策分野が、相互の連関のもと、高い水準で調和させる 目標2:“自転車”が街の風景として溶け込み、市民が『自転車先進都市』を実感し、認識を共有し、また先進都市市民として実践する 目標3:歩いて楽しい魅力ある都心空間を創出し、まちなかの魅力と回遊性向上を目指す	代表的な指標	自転車利用環境等の総合満足度 (%)	10.1% (H23年度) → 50.0% (R3年度)
		県庁通りにおける休日の平均歩行者交通量(9h)を把握する (人/9h)	4,236人 (H28年度) → 6,000人 (R3年度)	
		岡山城天守閣の入場者数を把握する (人)	327,551人 (H30年度) → 410,000人 (R5年度)	



■ 基幹事業 (公園)
烏城公園 (岡山城天守閣等の改修)
R3年度事業内容: 改修工事

□ 提案事業 (地域創造支援事業)
岡山城天守閣展示リニューアル
R3年度事業内容: 岡山城天守閣展示リニューアル

凡例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業

岡山駅東口地区(岡山県岡山市) 整備方針概要図(まちなかウォーカブル推進事業)

目標	大目標:自転車先進都市おかやまの実現と魅力・賑わいのある中心市街地の創出	自転車利用環境等の総合満足度 (%)	10.1% (H23年度)	→	50.0% (R3年度)
	目標1:「走る」「停める」「使う」「楽しむ」「学ぶ」という5つの施策分野が、相互の連関のもと、高い水準で調和させる	県庁通りにおける平日・休日の平均歩行者交通量(9h)を把握する (人/9h)	4,236人 (H28年度)	→	6,000人 (R3年度)
	目標2:“自転車”が街の風景として溶け込み、市民が『自転車先進都市』を実感し、認識を共有し、また先進都市市民として実践する 目標3:歩いて楽しい魅力ある都心空間を創出し、まちなかの魅力と回遊性向上を目指す	岡山城天守閣の入場者数を把握する (人)	327,551人 (H30年度)	→	410,000人 (R5年度)

